

九州運輸局メールマガジン
平成22年2月25日 第71号（発行日：毎週木曜日）
～九州の明日を拓く運輸と観光～
九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご覧くださいありがとうございます。

目次

- 1.九州運輸局ホームページアップ情報（2月18日～2月24日掲載分）
プレス発表
行政処分
お知らせ
海技試験制度・合格発表
バス・タクシー・トラック
- 2.九州運輸局セミナー
自動車の名義変更や廃車の手続はお早めに、確実に！！
- 3.リレーコラム【宮崎運輸支局長 常岡 浩治】
- 4.編集長だより

【九州運輸局ホームページアップ情報】（2月18日～2月24日掲載分）

プレス発表 《観光》

- ・中国からの『九州夢の旅』ツアーが実施されます！（2月18日発表）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100218.pdf>

- ・香港から九州への誘客促進を図るため香港の旅行エージェント招請を実施します！（2月24日発表）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100224.pdf>

行政処分

- ・自動車整備事業者の行政処分状況

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/seibi/seibi.htm>

お知らせ

- ・自家用自動車使用停止処分

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_021/file21_220216.pdf

海技試験制度・合格発表

- ・筆記試験の科目合格発表、口述試験の日程、筆記試験の合格発表、総合合格発表

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

バス・タクシー・トラック

- ・タクシーの特定地域協議会第2回開催状況（佐世保市、諫早市、熊本交通圏、大分市、別府市、宮崎交通圏、延岡市、都城交通圏）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file18.html

【九州運輸局セミナー】

- 自動車の名義変更や廃車の手続はお早めに、確実に！！

毎年、3月後半は自動車の名義変更や廃車の手続きで、運輸支局や自動車検査登録事務所の構内・窓口が大変混雑します。

理由としては、翌年度の自動車税の課税日が4月1日起算日の為、年度末までに多くの方が名義を変更したり、使用しない自動車についての廃車の手続きを駆け込みでされるためです。

自動車の登録制度は、所有権の公証という「民事登録」と、自動車の保有実態の把握という「行政登録」の二つの目的があります。所有権を公証し、第三者対抗要件を与えることにより、ユーザーの所有権を保護し、自動車の法的安定性を確保することができます。

また、ナンバープレートを交付し、自動車の識別を可能にすると同時に、個々の自動車の保有実態を行政的に把握することができます。

ところが、近年、自動車の名義変更や住所変更等の各種登録申請手続きが必ずしも十分に法令遵守されていないという実態があります。登録内容の変更手続きを忘れると、例えば、リコールの案内（車の不具合に関する重要な通知）、自動車税や保険等のお知らせが届かないといった支障が生じるおそれがあります。

このような状況に国土交通省としても大変憂慮しておりますが、対策として、ポスターやパンフレットを作成し啓蒙活動を行っています。

1人でも多くの方が、早めに、正確に手続きをしていただくよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

（自動車技術安全部管理課）

【リレーコラム】

ここ宮崎に赴任して2度目の冬を迎えています、「青い空と輝く太陽」このイメージの通り、黒潮が沖合を流れる日向灘に面した、宮崎県は、日本列島の中でも屈指の温暖地帯であり、真冬なのに日だまりに立つと、まるで春のような暖かさを感じ、冬は過ごしやすい地域だと改めて感じ入っています。（夏は少々暑さが過ぎますが）

さて、宮崎の2月は、「春のスポーツキャンプ」で県内が一色に染まると言っても過言ではないでしょう。

プロ野球やJリーグの春期キャンプが県内各地で行われており、日本のプロ野球は昨年日本シリーズを制した「読売ジャイアンツ」をはじめとする5球団、また韓国のプロ野球チームも2球団、そして欽ちゃんこと萩本欽一氏が率いる茨城ゴールデンゴールズもキャンプを行っています。また、Jリーグでは昨年の覇者「鹿島アントラーズ」をはじめとする18チームもここ宮崎でキャンプをはっています。

小生、宮崎には単身赴任で、「バラ色の単身生活」を謳歌しており、休日の日は県内各地の観光地を見て回ることにしていますが、やはりこの時期は、プロ野球のキャンプ地巡りを行うことにしています。なんと言ってもキャンプ見学の楽しみは、いつもは球場の片隅でしかみられなかったトップアスリートが間近でみられ、一流選手が行う特訓や、2軍の選手の生き残りをかけたひたむきな練習光景が目の前で見られることです。

また、総合練習ではランナー1塁、3塁等の想定での守備連係プレーや、走塁練習、練習試合での実戦さながらのプレーなど、まさにキャンプ地ならではの

醍醐味でしょう。

宮崎市では「ソフトバンク」と「読売ジャイアンツ」がキャンプを行っており、某バス会社が休日限定で発行している「1日市内乗り放題」券（500円）を利用し、ビール片手に2カ所のキャンプ地を行き来し休日を楽しんでいます。また、今度は日南市南郷町で行われている「西武ライオンズ」のキャンプに、JR日南線の観光特急「海幸山幸号」を利用し、大物ルーキーと呼ばれ名の高い「雄星」選手を見に行くこととしており、これもまた楽しみにしています。

このコラムが載る頃はもう宮崎でのキャンプマンスは終了していることと思いますが、皆さんも来年こそ「スポーツランド宮崎」に来て、楽しんでみてはどうですか。
宮崎より「キャンプレポート」でした。

（宮崎運輸支局長 常岡 浩治）

【編集長だより】

阿蘇は世界最大級のカルデラです。世界一と言いたいのですが阿蘇のカルデラより大きなカルデラはいくつかあります。しかしほとんどが湖になったり、海底に沈んだりしています。人が普通に生活したり全体が見渡せるカルデラでは間違いなく世界一の規模なのです。直径20キロのカルデラ内部には三つの市町村があり数万の人々が生活しています。

古代の阿蘇山は東の富士山とならび1万メートルの高さがあったと言われていました。過去4回の大爆発と陥没を繰り返して約8万7000年前に現在の阿蘇カルデラができました。

普通に呼んでいる阿蘇山という山は実際にはなく、阿蘇五岳（根子岳・高岳・中岳・烏帽子岳・杵島岳）を総称して阿蘇山と言っているのです。その中のひとつ中岳は今でも活動中であり現役の活火山です。やはり、肥後は「火の国」なのです。阿蘇五岳は周囲を取り巻く外輪山から全体の姿を見ることができ、北の方角からはまるで釈迦様が頭を東にして寝ているように見えることから、「阿蘇の涅槃像」（ねはんぞう）と呼ばれています。大観望から見る涅槃像は格別なものがあります。そんな阿蘇地方では3月を「火まつり月間」と称して「阿蘇の火文字焼き」や「阿蘇神社の火振り神事」を中核として様々な催しが各地で開催されます。また、早春の風物詩として「野焼き」が有名ですが、この「野焼き」は美しい草原を後世に残すため、何百年もの間人々によって受け継がれています。これをやめると数年で元の林に戻るそうです。阿蘇の大草原は人工的に作られたものです。「火まつり」の一環として毎年3月のお彼岸前後に「阿蘇の野焼き」が実施されます。一度、早春の阿蘇を訪れてみてはいかがでしょうか。

皆様のお知りになりたい情報・ご意見・ご要望等をお聞かせください。

編集部ではできる限りご要望にお応えしたいと思います。

下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長（九州運輸局総務部広報対策官）

森 益隆（もり ますたか）

mail : mm-kyushu@gst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次のURLに掲載しています。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html